

## 2007—08年琵琶湖北部へのハクチョウ類飛来状況

### 湖北野鳥センター

初認 2007年10月15日 5羽

最高羽数 2008年2月20日 510羽 (滋賀県内。草津市・高島市も含む)

- ・10月15日午後、湖北町延勝寺沖に5羽いるのを湖北野鳥センター職員が確認。新聞、テレビ局各社へ連絡。
- ・以降徐々に増加、10月30日には湖北町～米原市で262羽を確認。かなり広範囲の琵琶湖岸 (およそ20km) に広がった。
- ・11月10日、野鳥センター前のコハクチョウ群の中にオオハクチョウ2羽 (成鳥1羽幼鳥1羽) を確認。
- ・11月12日、強風で琵琶湖は波が高いこともあり、早崎ビオトープとその近くの水田に入る。以降時々入るようになる。
- ・12月に入る頃には琵琶湖全体で300羽を超え、日中は水田に上がるものが多くなった。
- ・12月中旬には琵琶湖全体で400羽を超える。
- ・水田に上がっている時にカメラを持った人が中まで入っていき飛ばしてしまう事がよくあり、特に土日は落ち着かないように見えた。
- ・大晦日から元旦にかけ雪が降ったが、水田へ上がっていた。1週間に1日程度、この頃から水田に行かない事があった。
- ・1月10日頃から亜種アメリカコハクチョウのような個体を含む家族 (成鳥2羽幼鳥4羽) を確認。幼鳥のうち2羽が特に嘴基部の黄色部分が小さい。成鳥が交雑ではないかと思われる。
- ・1月13日、滋賀県内の水鳥一斉調査の集中日。コハクチョウは湖北で379羽、草津で18羽、高島で74羽、合計471羽確認される。
- ・2月20日、湖北で411羽、草津5羽、高島94羽、計510羽のコハクチョウを確認。同日湖北で幼鳥1羽、高島で成長2羽幼鳥2羽、計5羽のオオハクチョウを確認。今季最高羽数。

- ・3月に入り、湖北での確認羽数が少し増える。北帰が近づき草津や高島から集まってきたのかもしれない。5日は430羽を確認。10日には450羽以上を確認。アメリカコハクチョウのような個体が2家族に増える。
- ・3月11日、湖北の水田でコハクチョウ454羽を確認。同じところでオオハクチョウ幼鳥3羽確認。2羽は高島で見られていたものよう。
- ・3月17日午前7：20に約90羽（オオハクチョウ幼鳥2羽を含む）が北帰したよう。午後5：15にも数十羽が飛んだが北帰かどうかははっきり確認できなかった。
- ・3月18日、朝7：00に確認できたのは14羽のみ。午後6：10頃全てが北へ飛ぶのを確認。
- ・3月19日朝、野鳥センター前に幼鳥1羽。8：30頃飛ぶが10：00までに戻ってきた。